～平成の時代から新しい時代へ 市民の願いをつなぐ～

新しい時代へつなぐ予算

平成31年度当初予算　一般会計予算

1,146億5,340万円

問い合わせ　財政課　☎229-3124　FAX229-3388

平成31年度は、平成の時代から新しい時代へ第一歩を踏み出す節目の年です。当初予算の編成に当たっては、これまで手掛けてきた事業や既に方針を明らかにした事業を着実に推し進めることで、合併後に作り上げてきたまちづくりを停滞させることなくさらに力強く進め、新しい時代へ市民の願いをつないでいく予算としました。

一般会計予算は、前年度と比べて４％増の1,146億5,300万円となりました。また、特別会計などを含めた総額は、前年度と比べて5.3％増の2,481億5,400万円となりました。

※文中や図表中の金額表記は100万円未満を四捨五入などしています。また、▲はマイナスを表しています。

会計別予算額

会計名		平成31年度	平成30年度	増減額	増減率
一般会計		1,146億5,300万円	1,102億6,500万円	43億8,800万円	4.0%
特別会計	国民健康保険事業	280億9,500万円	273億8,300万円	7億1,200万円	2.6%
	介護保険事業	283億8,000万円	273億8,200万円	9億9,800万円	3.6%
	後期高齢者医療事業	64億2,100万円	63億6,000万円	6,100万円	1.0%
	市営浄化槽事業	4億5,000万円	4億　400万円	4,600万円	11.7%
	共同汚水処理施設事業	1億　200万円	1億　700万円	▲500万円	▲4.8%
	農業集落排水事業	5億8,000万円	5億5,200万円	2,800万円	5.0%
	土地区画整理事業	2億8,400万円	10億　200万円	▲7億1,800万円	▲71.7%
	住宅新築資金等貸付事業	3,800万円	4,700万円	▲900万円	▲20.6%
	椋本財産区	100万円	100万円	0万円	——
	小　計	643億5,100万円	632億3,800万円	11億1,300万円	1.8%
企業会計	水道事業（支出）	109億8,700万円	113億9,300万円	▲4億　600万円	▲3.6%
	工業用水道事業（支出）	2,500万円	2,400万円	100万円	6.8%
	下水道事業（支出）	184億　200万円	171億9,900万円	12億　300万円	7.0%
	駐車場事業（支出）	3億　600万円	6億7,900万円	▲3億7,300万円	▲55.0%
	モーターボート競走事業（支出）	394億3,000万円	329億3,200万円	64億9,800万円	19.7%
	小　計	691億5,000万円	622億2,700万円	69億2,300万円	11.1%
合　計		2,481億5,400万円	2,357億3,000万円	124億2,400万円	5.3%

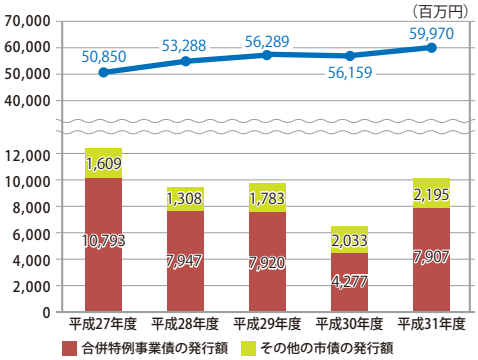
人件費、公債費、市債残高の状況

人件費は、前年度比1.4％増の203億5,900万円、公債費については、前年度比1.5％減の107億5,200万円を見込んでいます。

市債(臨時財政対策債を除く)の発行は、37億9,200万円の増となり、平成31年度末市債借入残高の見込み(臨時財政対策債を除く)は599億7,000万円と平成30年度末残高見込み(561億5,900万円)と比べ38億1,100万円の増となりました。

臨時財政対策債…地方の財源不足を補てんするために、本来、国から地方交付税として交付されるべき額の一部を振り替えて発行する特別な地方債のことです。各地方公共団体が借り入れ、後年度の償還金は全額地方交付税に算入されます。

市債（臨時財政対策債を除く）の発行額と借入残高の推移※



※発行額は予算額。借入残高は決算額(平成30・31年度は決算見込み)